様　式　Ｆ－７－２

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

1．機関番号　３２６０４

2．研究機関名　大妻女子大学

3．研究種目名　基盤研究(C)（一般）

4．補助事業期間　平成２６年度～平成２８年度

5．課題番号　２６３７０８７０

6．研究課題名　第二次世界大戦期、米英両国の世界地理認識の比較研究―地図史研究の方法論を用いて―

7．研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
４０４３８１７２	タカダ　カオリ 高田　馨里	比較文化学部	准教授

8．研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9．研究実績の概要

初年度には、米国立公文書館、第二次世界大戦期に陸軍航空隊によって用いられた空爆地図を調査した。米国国立公文書館地図室に所蔵されている第二次世界大戦期の地図について、とくに空爆地図に関しては、ヨーロッパ戦線に関するものが非常に少なく、むしろアジア・太平洋戦線に関する地図が多く所蔵されているという状況だった。アメリカ合衆国での調査過程で見出した対日空爆標的地図は、2色刷りの極めてシンプルな地図であった。この地図は、航空写真から建物などの詳細な情報を省略して地図化したものである。この対日空爆標的地図が「精密爆撃」を前提としない地図として作成されたことが理解できる。この調査に基づき、航空写真の地図化に関して2015年度に前述の「地図から読み解くアメリカの戦争」を執筆した。次年度に調査した英国図書館地図室で、こうしたシンプルな地図とは異なる地図を見いだした。それが、「斜角遠近法標的地図」である。しかし、英国図書館の地図室には、地図のみが所蔵されており、どのような経緯でこの地図が作成されたのかは不明であった。図書館での調査後、英国立公文書館に移動し、英航空省の史料を見いだした。そこから、この地図は、アメリカ陸軍航空隊の将校が提案、米英連合国が協力し、イギリスで作成したことが分かった。この地図は、ヨーロッパ戦線においてアメリカ軍が目指した「精密爆撃」用に作成された、標的上空侵入路誘導の補助的地図であった。この調査に基づき、2016年に「第二次世界大戦期、米英同盟による地図作成―『斜角遠近法標的地図（ギアリングスの地図）』を中心に―」を執筆した。これら一連の作業を通じて、アメリカ軍は、太平洋・アジア戦線では主導的に、しかしヨーロッパ戦線ではイギリスとの連携を通じて空爆作戦・空爆地図作成を行ったことが明らかになった。

10．キーワード

(1) 西洋史　(2) アメリカ史　(3) 軍事史　(4) 地図史

(5) 航空史　(6)　(7)　(8)

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

11.研究発表

〔雑誌論文〕　計（0）件／うち査読付論文　計（0）件　（最終年度分）
／うち国際共著論文　計（0）件　（最終年度分）　／うちオープンアクセス　計（0）件　（最終年度分）

著者名	論文標題

雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）

オープンアクセス

〔学会発表〕　計（0）件／うち招待講演　計（0）件　（最終年度分）　／うち国際学会　計（0）件　（最終年度分）

発表者名	発表標題

学会等名	発表年月日	発表場所

〔図書〕　計（0）件　（最終年度分）

著者名	出版社

書名	発行年	総ページ数

（課題番号： 26370870 ）
（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

12.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕　計（０）件　（最終年度分）

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕　計（０）件　（最終年度分）

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

13.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計（０）件　（最終年度分）

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

14.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

（１）国際共同研究：－

15.備考

（課題番号： 26370870 ）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。